



修学旅行に行きます

6年生が楽しみにしている修学旅行が間近になりました。修学旅行は思い出作りだけに終わることなく、ヒロシマを訪れることで、peacemaker としての自分の存在に気づいてほしいと考えています。

そのため、6年生は自らヒロシマについて学ぶだけでなく、絵本「おりづるの旅 さだこの祈りをのせて」の読み聞かせ（対象1年生から5年生）、原爆の子の像にささげる「おりづる」の作製（全校児童および教職員）、被爆体験の聞き取り（5/14 実施 茨木市被爆者の会）、ヒロシマで学ぶ決意を表す出発集会（5/21 児童朝会）、そして、修学旅行（5/24、25）、報告集会（日時未定）など、さまざまな機会を通じて「学ぼうとしていること」や「学んでいること」、「学んだこと」を全校児童に発信していきます。



昨年度の写真
(原爆の子の像の前)

本年度の修学旅行

今年度は以下の概要で修学旅行を行います。

【日時】5月23日（木）～24日（金）

【1日目】学校 6:50 出発（貸切バス）新大阪駅 8:42（新幹線）広島駅（広島電鉄）原爆ドーム前駅 10:30～15:00 平和記念公園&原爆資料館見学（貸切バス）宿舎 17:30

【2日目】円通寺 6:40（座禅体験）宿舎 8:30（貸切バス）姫路セントラルパーク 10:30～15:00（貸切バス）学校 17:00

【昼食】1日目…お弁当 2日目…姫路セントラルパーク内でカレーセット

【宿舎】国民宿舎良寛荘（倉敷市玉島柏島 478）

【費用】25778円（予定） ※27000円集金しています。

※今年度は児童数が52名のためバス2台使用。



被爆体験の聞き取り

茨木市内在住で被爆体験をされた岩本さんと木村さんにその当時のようすや、被爆したことによって受けた差別や様々な苦しみ、今日までこだわり続けていることなどを話していただきました。

【6年生の感想】

- ・私は、ひばく者がまだ生きていて、広島で起きたことを未来につないでいることに気づきました。そして、ひばく者のさけびについて考えました。思った以上にひさんな話でした。この話を私も未来につないでいきたいです。
- ・写真を見ただけでこわくなった。見たくない。聞きたくないと思ってしまった。でも広島に行くので気持ちを整えようと思って聞いてみた。こわい経験をして、自分の体や心に傷がついているのにこうやって私たちに話してくれてすごいなと思った。広島資料館はこわいかもしれないけど、しっかり見て戦争の本当のおそろしさを知りたい。
- ・今、当たり前前のが当たり前じゃないと思うと、じごくだと思う。今生きていることに感謝する。
- ・この話を聞いて、戦争のもとになるいじめやけんかをまずなくしていきたいです。
- ・原ばくでもたくさんの方がひがいにあったのに、原ばくよりきけん兵器をつくっている国が九こもあるなんて、ほんとうにつくらないでほしいととても思いました。
- ・こんなことがもう世界でおこってほしくないの、広島などでどんなことがあったのかを、しっかり学びたいと思いました。